

「発見」のクウェート留学！

京都外国語大学
齊藤祐史

クウェート留学での変化

「クウェート留学」と言われると留学前の私は「一年中暑いのだろうか」、「砂漠の地にすむのだろうか」、「娯楽はないのだろうか」と今とは全く見当はずれな考えを持っていました。この記事を書いている今現在留学中ですが、実際は快適に過ごすことができ、勉強する環境も充実しており、非常に恵まれた留学生活を送っています。その中で、日本に住んでいるだけでは知ることのできなかつた様々な知識や経験を得ました。考え方も大きく変わりました。特に「イスラーム」に関しての考え方が大きく変わったと言えます。

「イスラーム」に対するアプローチの変化



「イスラームは平和の宗教」と私の日本の大学のエジプト人の先生は申しておりました。その言葉が強く響き、もっとイスラームについて知りたいと思い、今現在の留学に至ります。留学前はイスラームについて、知識はあるものの上手くつかめず、何をどう勉強したらいいのか分からなかったため、手詰まりの状態でした。しかし、留学中の今現在は、何をどのように調べていくのかははっきりしています。留学期間中に様々なムスリムの方からお話を聞きました。その中で注目したのは「日本を訪

れたムスリムの滞在中の方に話を聞いてみると、①祈祷室の設置数、設置場での食事の問題があるこ

クウェートの友人と一緒にグランドモスクを訪れた時の写真。ここでイスラームについて詳しく教えてもらいました。

生活」です。それぞれのムスリム日本に滞在する際の問題として、所の問題、②ムスリムの方の日本とが分かりました。

① 祈祷室の設置数、設置場所

様々なムスリムの方からお話を聞く中で、祈祷室が少なく、祈祷室に寄るために遠回りをするといった話を聞きました。その問題として、ムスリムの方が祈祷室の数、場所がどれだけあるのか把握できるような環境整備が行われていないのではないかと思います。

② ムスリムの日本での食事



こちらの場合、人によって日本で食べられる食事の範囲が異なることが分かりました。ハラールフードのみ可とする方。中東からの輸入肉を使用なら肉に関しては可とする方。同じくキリスト教圏からの輸入肉を可とする方。アルコールに関して、酔わない微量の調理用アルコールであれば可とする方。それを不可とする方。様々な方がいました。

日本に関心のある友人と食事に行き、イスラームと日本に関して話しています

今後の活動

こういった現状を踏まえて、①に関しては祈祷室の調査、また祈祷室に関して先行して調査している団体との接触を図ってみようと思っています。②に関してはそれぞれのニーズに合わせ、食べられるレストラン、食べられないレストランを調査してみようと思っています。